

世界の衛星業界が目まぐるしく動いている。9月30日にアメリカ最大の衛星放送事業者として知られる DirecTV 社による Dish Network の合併が発表され、巨大な衛星有料テレビプロバイダーが誕生することになった。DirecTV は AT&T が所有する衛星放送会社で、Dish Network は Charles Ergen 氏が率いるエコスター社の傘下にある。この Dish Network は、「Sling OTT サービス」の提供や「Dish Anywhere」と呼ばれるアプリを普及させているので衛星放送以外の波及効果も無視できない。

買収の主要条件は、Dish Network が抱える 70 億ドルの負債を DirecTV が負担するというもので、2025 年の第 4 四半期には完了すると見られている。DirecTV の現在のオーナーは、AT&T が 70%、投資ファンドの TPG Inc. (本社：Fort Worth, Texas) が 30% であるが、合併成立後は TPG が 100% オーナーになるという有力な説が流れている。

エコスター社は、合併後も IoT や Direct-to-Device をグローバルに実現できる S バンド衛星を保有するので、衛星通信ビジネスから完全に離れるというわけではない。振り返ってみるとエコスター社は、1995 年にロッキードマーチン社製の「Echostar-1」衛星を中国の長征ロケット

で打ち上げたという歴史のある事業者であり、今後の衛星通信業界でどのような新戦略を打ち出すのか興味津々である。

本件に関連したニュースとしては、10月10日に DirecTV が「MyFree DirecTV サービス (FAST Platform)」を 11 月 15 日から開始すると発表して意表を突いた。より多くの選択肢とより多くのコントロール権を視聴者に提供するのが目的のようだ。

同じ 9 月 30 日に Gogo Business Aviation 社 (本社：ミイリノイ州シカゴ) が、旅客機向け衛星通信サービスを手掛ける Satcom Direct 社 (本社：フロリダ州メルボルン) を買収すると発表した。当座の買収金額は、3 億 7500 万ドルと言われている。

Gogo 社は、中小のビジネス航空機向けネット接続市場に強く、Satcom Direct 社を傘下に入れることで民間旅客機市場へのビジネス拡大が狙える。関係官庁の承認が必要だが、Starlink や Viasat などとの競争が激しい業界になってきているので、2025 年には実現すると思われる。

一方、中東では 10 月 1 日にアラブ首長国連邦の衛星通信事業者として知られる Yahsat Space Services 社と衛星観測

ビジネスを主業務とする Bayanat Smart Solutions 社が合併して Space42 社を設立したとの発表を行った。合併の目的については、「2 つの異なる衛星分野を組み合わせることによる相乗効果、Yahsat の GEO 衛星と Bayanat の LEO 衛星観測網を駆使するマルチオービット・オペレーションの効果を狙った」と報じている。具体的には、普及の著しい各種センサーを駆使するデータの取得と衛星通信を基盤にしたグローバルな IoT セグメントと自動運転の分野への進出を考えているようだ。

変わったところでは、9 月 25 日に米国連邦通信委員会 (FCC) がインテルサット社の「Galaxy 25」衛星の宇宙での救済ミッションに関し許可を下した。この衛星は、1997 年 5 月にプロトン K ロケットで打ち上げられた Maxar Technologies 製 LS-1300 型の衛星である。

今回この寿命期間を過ぎた衛星の救済を請け負うのは、ノースロップ グラマン社の子会社の Space Logistics 社である。同社は、Mission Extension Vehicle (別名、Space Tug) を駆使して「Galaxy 25」衛星にドッキングして枯渇した燃料の補給を行うことで再使用を可能にする。打ち上げから 27 年もたった衛星を見事に蘇生させられるのか興味津々である。

### 「日本の防衛・災害対策衛星」

日本では珍しく内閣衛星情報センターと防衛省が衛星の話題を提供している。

内閣衛星情報センターは、9 月 26 日に情報収集衛星レーダー 8 号「IGS-R8」を「H2A ロケット」で打ち上げた。1 月に打ち上げた情報収集衛星光学 8 号「IGS-K8」と共に日本の防衛・災害対策の要となる衛星である。

一方、防衛省は 10 月 26 日に X バンド防衛通信衛星 3 号「愛称きらめき 3 号」を



写真 1 アメリカ最大の衛星放送事業者として知られる DirecTV 社が、9 月 30 日に Dish Network 社の合併を発表した。(出典：directv.com)



写真 2 日本政府の内閣衛星情報センターは、9 月 26 日に情報収集衛星レーダー 8 号を種子島宇宙センターから「H2A」ロケットで打ち上げた。(出典：cas.go.jp)

「H3 ロケット」で打ち上げる。2018年に投入した「きらめき1号」、2017年に先行して打ち上げられた「きらめき2号」と連携して日本の防衛通信の基盤を形成する重要な衛星である。

防衛省は、静止衛星の「きらめき」に加えて、KDDIから回線を借りて米国の低軌道周回衛星「Starlink」による実証実験も行っている。ウクライナの戦場での「Starlink」の実績を踏まえた念には念を入れての対応と思われる。

さらに防衛省は、日本のスタートアップ企業のシンスペクティブ社と組んで同社の合成開口レーダー衛星「Strix-4」（2024年8月打ち上げ）による宇宙実証にも取り組んでいる。防衛面や国土安全保障へのレーダー衛星の-適合性を判断するのが目的と察せられる。

防衛省に関しては、今後の積極的な計画も注目的になっている。2025年度の予算案の概算要求では、主な計画を2件挙げている。1件は、ミサイルの探知や追尾のために多数の小型衛星を連携させる「衛星コンステレーション」の構築で、この計画への要求金額は3232億円と報じられた。構想の詳しい内容は公表されていないが、50機ほどの小型衛星をLEO（低周回軌道）で運用することを考えているようだ。

もう1件は、防衛通信衛星の後継機の設計・製造である。次世代の「きらめき4号」衛星を想定としたこの計画には、1353億円が必要とされている。

## 「日本ケーブルテレビ大賞」

話はがらりと変わるが、9月6日に日本ケーブルテレビ連盟が「第50回日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード」を品川ザ・グランドホールで開催した。地上波とは違った優れたケーブルテレビ向けの番組作りを支援し、制作された優れた番組を掘り起こすのが狙いである。50年の歴史を誇るこの番組アワードは、総合的に優れた番組を評価の対象にしたコンペティション部門、地域に密着した番組作りを前提にしたコミュニティ部門、新しい制作者の発掘と育成を目的とした新人賞部門の3部門から構成されており、今回それぞれの部門の応



写真3 「第50回日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード」で、グランプリを獲得したのは、大垣ケーブルテレビ制作の「守れ！美濃柴犬～高校生研究班の奮闘記～」であった。（出典：catv-jcta.jp）

募数は、78件、80件、32件に達したという。

これら190作品の中から栄えあるグランプリ総務大臣賞を受賞したのは、岐阜県の大垣ケーブルテレビが制作したドキュメンタリー番組「守れ！美濃柴犬～高校生研究班の奮闘記～」であった。この作品は、大垣養老高校の研究班が、希少品種と化した美濃柴犬を守り抜こうとする過程を丁寧に取材し、その強い使命を浮き彫りにした点が高く評価された。

これに次ぐ準グランプリを獲得したのは、射水ケーブルネットワーク（富山県）が制作した「令和6年能登半島地震 検証！その時、あなたは・・・」であった。

なお、各部門の優秀賞に選ばれたのは、下記の作品である。

### コンペティション部門

「200円がくれたもの」（制作：岐阜県CCNet本巣支局）と「～故郷とともに生き 故郷とともに逝く～孤軍奮闘する若き医師の挑戦」（制作：佐賀県ぴーぷる）

### コミュニティ部門

「Road to 2030～SDGsで考えるふるさとのミライ

～若者とまちづくり」（制作：鳥取県中海テレビ放送）と「おじの語るシス#1 平井伸治と鳥取県知事」（制作：鳥取県日本海ケーブルネットワーク）

### 新人賞部門

「ハチゴープロジェクト～引退車両のセカンドライフ～」（制作：東京都イツ・コミュニケーションズ）と「北浦地方のサバー送り つなげ伝統のバトン」（制作：山口県ながとてれび）

なお、4K作品を推奨する「4K奨励賞」も設定されており伊賀上野ケーブルテレビ（三重県）が制作した「伊賀くみひもの彩～染色職人平岡正貴～」が受賞した。

Naokira Kamiya  
衛星システム総研 代表  
日本衛星ビジネス協会 理事


**SWE DISH**

ニッサン新エルグランド4WD  
5名定員  
1.2m径・自動捕捉アンテナ搭載  
車高2.2m以下（地下駐車場可）  
3.6 KVA NMG アイドリング運用  
水圧エコ・ポール4m 搭載  
強化サスペンション  
国内（100V）海外（240V）対応  
IPコントロール  
ハイビジョン映像伝送  
運転席からワンマンオペレーション

**SMART SNG**  
HD TV, 3D TV and IP OVER SATELLITE ECO OPERATION

スマート・サテライト・ニュース・ギャザリング

http://www.bizsat.jp



設計・製造・衛星通信のことなら  
エーティコミュニケーションズ株式会社  
TEL: 03-5772-9125

AI Communications k.k.